

## ✈️ 畠山 凜音

空港に着いた時は日本と差がなく、外国に来ている感じではなかったが、ハングル文字の道路標識などを見て、「あ、韓国に来たんだ」と初めて実感しました。

初日に食べた豆腐料理は日本にない味付けで驚きました。その料理の話から、一緒に行ったほかの2人と仲良くなっていくことが嬉しかったです。豆腐料理のお店に行く途中にセブイレブンがあって、そこに寄ってみたいという話になり、寄ってみました。日本にある同じ名前のコンビニだが内装が日本と違い、売っている商品も違った。そういうところを見て、改めて韓国に来たんだなと思いました。



英語村の施設は見学と宿泊をしましたが、英語村の施設はどこもきれいで異国にいる気分でした。

平和学習施設を何か所か見学しましたが、向かう途中に兵士がバスの中に入ってきてチェックされたのがとても緊張しました。

2日目に坡州市のカマク山にある吊り橋を見学しましたが、行くまでの道のりが秦野市の戸川公園に行くまでの道のりと似ていて、一緒に行ったメンバーと盛り上がりました。

2日目の夕方にソウルに移って見学をしましたが、人の多さとビルの高さが日本の東京に来ている気分になりました。



## ✈ 瀬戸 結葉

今回は2回目の坡州市訪問だったので、学年が上がってから聞いた色々な説明は、前回よりも多くのことを考えさせてくれました。

坡州市内は、自然が豊かで所々秦野市に似ているような風景もあり、親近感を覚えました。また、英語村を訪れた際に、授業を受けることができませんでしたが、前回訪問した時を思い出すことができ、とても懐かしかったです。

DMZ内にある都羅山駅に行ったのは初めてでしたが、北朝鮮から聞こえてくると思われる音楽がとても不気味に感じました。ですが、国境付近を実際に訪れることにより早く南北統一をして欲しいという気持ちやこの問題に対する関心が高まりました。

前回来たときは英語村の中で過ごす時間の方が多く、韓国の文化を感じられるのは食事だけでしたが、今回は南大門市場や明洞などで韓国の方の生活の様子などが感じることができました。

また、メディアで報じられている反日などの様子はあまり感じられず、私達が困っていると英語や日本語で説明してくれる方が沢山いて、実際に足を運んで体験することでその国に対する理解が深まるということ学びました。

私は今年から国際関連の学校に入学するので、外国の文化に触れる機会が増えると思います。なので、今回学んだことを活かしつつ、もっと沢山のことを吸収して成長していきたいと考えています。



## ✈ 永原 由紀乃

韓国に行く前、私は正直こわいイメージがあって、あまり行きたくないなと思っていました。ですが、実際に行ってみて良かったなと思いました。韓国に対する考え方をえられたのは、今回の経験があったからだと思います。韓国で過ごした3日間はほぼ日本語で話していたので、ガッツリ韓国に行ったなとは感じませんでした。



今回はそのような感じだったので韓国語をしゃべれるようになりたいなと本当に思いました。次に韓国に行くときは、自分の力で話して観光をしたいと思います。

食事は3日間、肉料理が多かったですが、日本ではなかなか食べられないものばかりで食事をしていて楽しいなと思いました。中でも到着後、最初に食べた豆腐料理はとても印象的に残りました。

坡州市を訪問して、英語村で貴重な経験をすることができました。英語村では実際に授業を受けることはできませんでしたが、施設を沢山見学することができ、普段の生徒の様子を見ることができたのが良かったです。

統一安保関連施設の見学では、普通だったら経験できないことを沢山経験できました。本当に知らないことばかりでおもしろいなと思いました。歴史の授業で習ったことに関連している話が沢山できて理解しやすかったし、兵士さんもとても丁寧にやさしくて説明してくれてわかりやすかったです。兵士さんはとてもこわいイメージがあったので実際に会ってみて優しいということに気付いて良かったです。

今回、韓国に行ってみて初めてのことばかり経験できて本当に良かったです！ここで経験したことをこれからの生活に英語などを活用していけたらいいなと思います。

今回の訪問で手伝ってくださった市役所の方々や通訳の方、一緒に行った仲間たちに感謝です！こんな貴重な体験をさせていただいてありがとうございました！！



## ✈ 奈良 利代子（中学生英語スピーチコンテスト実行委員）

中学生英語スピーチコンテスト入賞者の3名の生徒たちと共に韓国坡州市を見学しました。英語村ではちょうど中学生の授業がなく、授業を体験することができず、残念そうでしたが、他の授業の様子を見ることができて共感したことと思います。

夕方には「坡州市総務課長主催の歓迎夕食会」を設けていただき、その場で生徒たちは英語スピーチを披露しました。実は、夕食会の会場に着くまでのバス移動の中では生徒たちは各々真剣な表情で「あー、緊張する！」などと口々に一生懸命練習をしていました。その努力も実り、課長を始め、皆さんから拍手をいただき、また、英語圏担当の職員の方と英語で会話をしたり、韓国料理の食べ方を教えていただいていたたり、生徒たちも楽しんで食事をしていました。

統一安保施設の見学では、非武装地帯（DMZ）の中にある都羅展望台は韓国最北の展望台で北朝鮮がすぐ隣に見えるが、行き来は全くできず、戦争のツメあとと未だに続く分断の歴史に痛切さを感じました。

中学生英語スピーチコンテストの実行委員として同行させていただきましたが、生徒たちは最初緊張気味でしたが、時間を追うごとに仲良くなり、人と人のつながりや韓国訪問をしたことにより、異文化に触れることができた経験は3人にとって勉強や進路、生活などの様々な面で生かされ貴重な時間だったと思います。

平成28年度中学生英語スピーチコンテスト

韓国・坡州市訪問の記録

編集発行 秦野市市民部市民活動支援課

〒257-8501 秦野市桜町1-3-2

TEL 0463-82-5118

平成29(2017)年4月